

3. 傷害の被害者

話を聞くことができたのは7件であった。通話時間は最長で20分、最短で1分、平均11分であった。全員被害者本人である。

また「自分としては、一度精神的な状態を話したい」ということで面接に来られた人がおり、その聞き取りの一部も加えて記述した。

1) 事件の衝撃と心理的反応

① 被害内容に関して

加害者とは全く面識のないケースとして

「ひったくりで殴る蹴るの暴行」

「因縁をつけられ、金属バットで殴られた」

「バイクで走行中、車が横につけてきて、車に乗せられ暴行された」などがある。

勤務中に被害にあったケースとして

「仕事先に強盗で頭を強打」

「コンビニエンスストアで店番中におそわれ、頭を強打」

「現金搬送中に襲われ負傷」

「万引きをつかまえて110番に通報中に殴る蹴る」

「タクシー料金を請求したら、殴られ料金を踏み倒され、顔面骨折全治2月」

などがある。

加害者と多少とも面識があったケースとしては、

「知人と飲んでいて、知人の仲間数人から前歯を折る暴行」

「近くの暴力団員数人から、殴る蹴るの暴力をうけ、片目が失明同様」

「顔見知りの男から口論の末に喧嘩となり殴られた」

などがある。

傷害の程度については、挫創（右眼角上部）、切創（頭部4センチ）、骨折（右肋骨3本、鼻骨）、前歯を折る、打撲、失明寸前、などであった。

② 事件後の心理について

◇ビクビクするところがある。はやく捕まって欲しい。捕まらないと、同類犯を装っての犯行も増えるのではないか。似たような事件が新聞に出ていたが、そういう記事を見ると身を引く態勢になってしまう。

◇当時、加害者と同じ授業をとっていた。小クラスなので、加害者と顔を合わせたくなくて授業に出なかった。逮捕までの半年間、欠席したので単位を落とし、留年となったのが理不尽な感じ。加害者は逮捕後3か月間拘置されていて、その間は授業に出られなか

ったのに卒業でき、納得のいかない感じがした

2) 医療現場での対応について

「ふつう」「親切」「適切な処置だった」としているのが目立った。その中には「事件直後の警察の事情聴取に対して、看護婦が怪我をした患者なので話しかけないでと応対してくれたので助かった」というものもあった。

一方、「総合病院だったので、方々の科に行かされて時間がかかり、疲れた」という例もあった。

3) 警察の対応について

① 初期対応

対応がよかったとするものには、

- ◇最初、家の近くの交番に行ったが、親身に相談にのってくれ、その事件の所轄の警察の刑事課へ行きなさいとアドバイスしてくれた
 - ◇精神的にまいっていた私達を助けてくれ、事件のことを細かく聞いてくれた
 - ◇よく事情を聞いてくれた
- と、丁寧な対応をされたり、「サンダルを拾ってくれた」ということでほっとした被害者もいる。その他、
- ◇警察はよくやってくれた
 - ◇当時の警察、病院の対応は問題なかった。仕事は通常に戻っているし、悪夢等見ることもない
- があった。

対応がよくなかったとするものには、

現場で捜査が優先されたことについて

- ◇何度も何度も同じ事を聞かれ早く病院に行って痛みをとってほしかった
 - ◇夫の安否が不明であり自分もけがをしているのに質問された
 - ◇けがの痛みと異常な興奮状態で吐き気を催してるのに、救急車内で事情聴取され閉口した。
- とある。また、
- ◇駆けつけてくれるのが遅かった。すぐそばに派出所があるのに、警察署から5分以上かかってきた。加害者を取り押さえていたので警察が来るまで恐かった。
- と、時間がかかったので不安を感じた被害者もいた。

② 事情聴取について

不満ありとしては、「長時間かかる」「とにかく長い」と時間がかかることをあげた人が多かった。

◇長いため、途中で腹が減ったり傷口が痛んだりした。

◇事情聴取が長すぎてつらかった。夜中1時過ぎから朝7時頃まで。そのまま眠る暇なく仕事に行った。ワープロ打ちも遅く、専門の人を雇えばよいと思う。

◇待たされる

また、

◇何回も同じような事を聞かれる

◇同じ事を何回も聞きすぎる

◇1人の事情聴取で全体に伝わればいいのに、課が違うごとに同じ事を聞きに来て5、6回同じ事を話し不思議な感じがした。初動捜査の遅れで犯人を逃がしてしまうのではと危惧してしまった

と、繰り返し聞かれることに、負担と不審を感じている。

他には、

◇えらそうにしないでほしい

◇もう少し時間がたってからの事情聴取にして欲しかったがあった。

よかったとして、

◇調書をとってくれた刑事さんはとてもいい方だった

◇たいへん丁寧でわからない事などよく説明してくれたことを、感謝しているというのがあった。

4) 裁判および加害者について

① 加害者、相手の家族・弁護士等で困ったこと

◇加害者の父兄が何も詫びをいれない

◇何の補償も得られない

◇相手の弁護士が暴力団に雇われた人間なのでまったく話にならない。補償する気がない。

というように謝罪や補償が行われないこと、また、

◇同じ学校なので、相手が逮捕されるまでの間、学校に行きにくく、身の危険を考えると授業を休まざるを得なかった

◇（相手が）働いている店の近くに住んでいるらしいので、また何かされるのではないか。

と、加害者からの再被害をおそれたり
◇犯人はつかまっていないことが不安。
となる。

5) 現在の状況について

「よくなっている」というもの；

◇示談となり、慰謝料をもらい、事件については今はあまり何も引っかかりがない

◇一年経っているので大分落ち着いた

「少しはよくなった」というもの；

◇だいぶ恐いという気持ちは無くなってきた。しかし、店に身なりのあやしい人（不潔な感じ、無精ひげはやしていたり、加害者に似た身なりの人）が来ると恐い。でも、事件後一週間から二週間の頃よりずっと和らいだ。

◇精神的症状は和らがないが、少しずつ眠れるようになっては来た。食欲も問題なし

「よくなっていない」というもの；

◇片目が見えない。また、視神経からしびれ、筋肉痛などがあり、つらい。動きも鈍くなり能率が悪くなる。症状は固定しており病院ではこれ以上改善の余地なしと言われている。

◇事件のこと思い返すことが多く、ひたすら理不尽な被害にあったことの怒りが強い。

◇会社は冷たく、出世にもろに響いている。同期のものに追い越され、後輩に先を越される。仕事が回ってこない。早いところやめて欲しい雰囲気が見え見え。転職しようにも身体が思うようにならないのではどうしようもない

6) 面接調査（20代無職女性：仕事先で強盗に頭を強打された）

電話の聴取だけでなく面談したいという申し出があり、約2時間にわたり面接での聞き取りを行った。その概要は次のようである。

被害内容は、仕事先に強盗が入り、一人でいた被害者が顔にガムテープを巻かれ、頭を何度も強打されたというものである。

[事件直後]

事件直後、眠れず、外科で治療中の病院の精神科にかかり、睡眠剤、安定剤をもらっていた。突然興奮して、黒いものが襲ってくるように感じる時があり、朝になってやっと安

心して寝るような時があった。薬に頼らず普通の生活に戻りたいと思っていたが、裁判の前後には興奮がひどかったので、薬を飲んでいて。

[今の状態]

今になって精神的につらいこともでてきたので話したかった。

現在、刑事裁判中だが、裁判前後は不安定になり、安定剤を飲む。

精神的なものが予想外にくる。裁判の時とかも無理して仕事しているけど、事件のことを思い出す。

自分にとってはいつまでも過去のことはならず、他人に気持ちをわかってもらえない。人にとっては、興味の対象でしかない

[今の仕事]

(事件時していた)接客業の仕事が怖くてできなくなった。事件後、新しい仕事についているが、仕事が手に着かない。ちょうど裁判の前後になると、自分でも何でなのか分からなくなる。

[フラッシュバック]

事件をそのままリアルに再現してフラッシュバックすることがある。その時は「あの時もう殺された方がよかった」と思った。

わりと安定したきた頃、TVで黒づくめの服装(加害者と同じ)の犯人に襲われるシーンを見ていて、同時に一緒にいた人と口論したのがきっかけで、犯人に襲われた時と同じになってしまった。初めてのことでびっくりした。

今後も何でもない時に突然起こるのではないかと思うと不安である。

現場と全く同じになる。担当の医師もそういう経験がなさそうだった。

(事件について話をすることは)その時はいいけど、あとで不安定になることがあり、少し複雑。事件の時のことが、細かく、明確に、妙にその時の気持や恐怖心を思い出してきて、具合が悪かった。でも、このままにしておいていいのだろうか、と思う。

自分でも普通に話して思っているけど、その後、急に泣き出したりとか、その時の気持ちをずるずるとひきずって、何でそういう感情が出てくるのかわからなくなる…自分のことなのと思う。終わってくれるのかな、続くのかなとか。

[裁判の時はつらい]

近く裁判がある。精神的に波があるので、このまま何も聞かないで…という時もある。今は大丈夫だが、精神的にすごくなった時は全然何も話せない。泣いてしまって話せない。裁判の前後すごく動揺して、泣いていたことがあった。

[弁護士]

警察の「被害にあった人へ」のパンフレットを見て、弁護士協会とかいろいろ泣きながら電話したけど、門前払いみたいな感じだった。しおりについている所に電話してもどこも役に立った所がない。

弁護士協会にも行ってみた。事件後間がなく、一番ひどい時に酷な対応をされた。民事を起こす前に話に行き、ボロボロになって帰ってきた。安く、分割でできる所で3人の弁護士さんの前で話した。事件のことには全く触れなくて、お金のことで話が進んでしまった。事件の資料も全く見ないで「最初に30万かかります」と言われた。その後、安い方法でやりたいというのがわかったら、ずっと引いた感じで、事件の内容とか全然聞かれなかった。相手が私選だと思っていて「じゃ相手からお金取れる」と言い、実は国選だったとわかると「結局訴え損だよ」とか「犯人はお金に困ってそういうことしたので…」と言われた。弁護士がそんなこと言うなんて、と思った。期限ぎりぎりに訴えたらとか言われ、こんな人に任せたくないと思って出てきてしまった。

[加害者について]

相手が私に償う期間が切れてしまう前に、早くしなきゃって思った。償うというのは、まずお金を払って欲しいし、きちんとしたものを返して欲しい。他には、何も。「殺すぞ」と言われたので、もう話したくない。

相手から何か言ってくるかと思っていたけど、相手の家族からも何も来ない。

最初に警察で7年入ると言われたがどうなるだろうか。

[警察の対応]

特に気になる事はなかった。

その時は気を遣ってくれたけど、その後のことはこちらから聞かないと教えてくれなかった。途中経過について連絡が来なくて、電話をしても担当者につながるのに時間がかかった。頼りにならなかった。どうしていいかわからなかった。問い合わせするのがとても大変だった。

[病院・医療]

外科は行く度に違う医師で、何回も説明するのが苦痛だった。

(医療費は) 外傷の分については、現場の店に払ってもらった。でも今後は、自費になる。